

日本映画学会 プロシーディングス

執筆規定

日本映画学会は、大会ならびに例会のプロシーディングス[大会記録](PDF電子刊行物)を刊行いたしております。プロシーディングスは、学術的にも評価され、記録としても貴重なものです。

発表、シンポジウム参加、講演などを行っていただいたみなさま、次の執筆規定にしたがって、できる限りご執筆ください。なお、分量は発表原稿の分量程度を想定しております。ただし、研究発表などの場合は先行研究ならびに当日の質問などにご配慮をお願いします。また、刊行前に、修正などをお願いすることがあること、統一などのために多少の編集を加えることがあることを予めご了承ください。

1. 執筆言語：日本語または英語。
2. 使用ソフト：MSWORD をお願いします。文字は 10 ポイントで一行の字数は 51 文字。また、フォントは Meiryo UI で、文字色は少しだけ青がかった黒。
3. カテゴリーと分量
個人発表：8000～14000 字程度を目安とします。英語の場合は、その半分のワード数とします。
シンポジウム：参加人数×8000～14000 字程度を目安とします。英語の場合は、その半分のワード数とします。
講演：8000～14000 字程度を目安とします。英語の場合は、その半分のワード数とします。
* その他、必要に応じてカテゴリーを加えることがあります。
4. 書式：学会誌同様、MLA方式をお願いします。学会誌の書式規程をご覧ください。註と引用文献リストは、必ずしも必須ではありませんが、必要な場合はこれもMLA方式にしたがってください。また、編集しやすいように、テキストボックス、レイアウト枠、自動機能の使用などはお控えいただければ幸いです。
5. タイトル、氏名、ご所属・職位(例会・大会時)を最初にお書きください。
6. ネイティブ・チェック: 母語(第一言語)でない言語で執筆した場合は必ずネイティブ・チェックを受けた上で提出してください。
7. 締切と刊行：締切は、例会プロシーディング毎年 8 月末日／大会プロシーディング毎年 2 月末日。
発行は、例会プロシーディング毎年 9 月／大会プロシーディング毎年 3 月。
8. 提出先：事務局および会報編集長。事務局は、japansocietyforcinemastudies(atmark)yahoo.co.jp [(atmark)の箇所に@を代入してお送り下さい。]
9. 校正：校正は、刊行前に初校のみ1回行います。電子メールにご留意ください。
10. 公開：日本映画学会は会報を学会ウェブ・サイト上などで公開する権利を有するものとします。